



北海道手稲養護学校三角山分校

令和8年度 学校だより

第1号

令和8年4月30日(木)発行



「五つの志」を胸に、一人ひとりの歩みを支える学校へ

校長 鴻江 康人



札幌の街並みにも柔らかな春の光が降り注ぎ、ようやく桜の季節を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様、そして日頃より本校の教育活動を支えて下さる医療・療育・福祉など、関係機関の皆様におかれましては、健やかに新年度を迎えられたこととお慶び申し上げます。

この度、異動により北海道網走養護学校より着任いたしました、校長の鴻江と申します。八雲養護学校から続く歴史ある三角山分校の一員として、子どもたちの成長に携われることを大変光栄に感じております。誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本分校は「自らの可能性を生かし心豊かに生きる人を育てる」を学校教育目標として掲げています。そして、達成に向けてのめざす学校像に加え、めざす子ども像ともいうべき『心に育む五つの志』を大切な指針としており、これからの1年、児童生徒が日々の学校生活の中で育んでもらいたいという願いを込めています。

- すきを見つける（好奇心の芽生えを大切にする）
- 何でも楽しめる（主体的に日々の生活に喜びを見出す）
- みんなとつながる（他者と手を取り合い、支え合う関係を築く）
- 自分を信じる（自己肯定感を育み、唯一無二の存在を認め合う）
- からだを思いやる（体調と相談しながら、自分の体を最良のパートナーにする）

特に、医療的ケアや体調管理が欠かせない本分校の児童生徒たちにとって、「からだを思いやる」ことは全ての基盤となります。焦らず、自分のペースで、種が芽を出し、やがて大輪の花を咲かせるように一歩ずつ進んでいてもらいたい…。児童生徒の姿を中心に学校を含めた関係するすべて皆様の思いをかたちにしたものです。私たち教職員は、子どもたちが「楽しい!」「できた!」と感じる瞬間を一つでも多く創出できるよう、全力でサポートしてまいります。しかし、その歩みを支えるためには、学校だけの力では足りません。ご家庭での深い愛情、地域の方々の温かな眼差し、そして医療・療育・福祉関係の皆様による専門的な知見と連携があってこそ、子どもたちは安心して自分らしく過ごすことができます。本分校が、子どもたちにとって「いつでも安心して過ごせる場所」であり続けるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に邁進してまいります。新年度のスタートにあたり、皆様の変わらぬご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、令和8年度のご挨拶とさせていただきます。

入学式

4月9日(木)に、入学式が行われました。今年度は、高等部に5名の新入生が新しく仲間に加わりました。

慣れない環境に戸惑うこともあるかと思いますが、自分の好きなことや得意なことを大切にしながら、一步ずつ経験を積み重ねてほしいと思います。仲間や先生方との関わりの中で、多くの学びと成長があることを期待しています。

(担当：田中)



令和8年度職員紹介

管理職	校長：鴻江 康人 教頭：伊藤 友紀 事務長：寺本 美奈
小学部	愛澤 文祥、鎌田 仁子、松島 希、三条真知子、矢内麻衣子、眞山 紀子
小・中学部 訪問教育学級	宮村 房、嘉屋 史眞子、木山 知子、中村 比奈子、中條 由紀子 庵谷 亮、佐藤 泰雅、大山 千鶴子
高等部	橋本 尚幸、喜多 裕美、梅野 綾人、柳澤 啓、林 美紗子、中隴 晃、相沢 享子 工藤 翔太、鶴田 高之、佐橋亜起英、小薬 庸子、武藤 素子、森屋 伸、森野 美穂 田中 貴志、櫻庭 大吾
養護教諭	浅川 繭子
専門支援員	宮田 貴枝、佐藤 信太
事務職員	菅谷 真司、星 聡美

5・6・7月行事予定

5月18日(月)	保護者参観懇談期間(22日まで)	6月8日(月)	前期中間考査(11日まで)
5月22日(金)	PTA総会	7月23日(木)	1学期終業式
6月1日(月)	開校記念日		

北海道教育委員会 子ども相談支援センター窓口のお知らせ

電話相談：0120-3882-56(無料・毎日24時間対応)

*子ども達だけではなく、保護者の方も利用できます。

北海道手稲養護学校 三角山分校 ~日々の様子などをウェブページで発信しています~ [三角山分校 検索](#)

〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1-38
学校代表メール sankakuyama-z0@hokkaido-c.ed.jp

電話 011-633-3020 FAX 011-633-3023
Web ページ <http://www.sankakuyama.hokkaido-c.ed.jp>